

2016

【応募期間】 2016年8月17日～9月15日

【応募状況】 17校（県内8、県外9）、1,263件（1,349人）

【審査結果】

《グランプリ》

全国に発信 “大分♡スイーツ 原尻の滝”
安東優有・溝江樹・堀佳奈・矢野菜月
（大分県立大分商業高等学校 3年）

《大分県教育委員会教育長賞》

臭いをとって商品開発
松本凜・山口あやめ（鹿児島県立市来農芸高等学校 1年）

《大分合同新聞社賞》

安心保証つき母子健康手帳
板井瑠菜（大分県立大分商業高等学校 3年）

《優秀賞》

車載型 AED の義務化
黒木朝陽・一水理誓・西山竜太郎（宮崎県立高千穂高等学校 2年）
保戸島創生！～グリーン・ツーリズムで繋ぐ意志～
石田由行（大分県立津久見高等学校 3年）

《奨励賞》

飛ばないんです
日野歩未（大分県立大分商業高等学校 1年）
五本指に見えない五本指靴下
荒川渚（別府市立別府商業高等学校 3年）

《努力賞》

～共創～都商生×高齢者クラブ＝いっしょきやろかい
戸高美沙都・葉亜蓮（宮崎県立都城商業高等学校 3年）
ふたつきシャンプー（リンス）入れ
近藤未希（大分県立大分商業高等学校 1年）
不衛生な人や子どもに便利なドア
黒木愛花（宮崎県立高千穂高等学校 2年）

★審査委員特別賞

《大分大学 COC+賞》

全国に発信 “大分♡スイーツ 原尻の滝”
安東優有・溝江樹・堀佳奈・矢野菜月（大分県立大分商業高等学校 3年）

《ファミリーマート大分大学旦野原店賞》

安心保証つき母子健康手帳
板井瑠菜（大分県立大分商業高等学校 3年）



【審査講評（抜粋）】

今年は、県内外から計 1,263 件の応募がありました。4 月に発生した熊本・大分地震を踏まえ「災害時の避難生活であると便利なモノ、仕組み、etc. のアイデア」も広く募り、これに対する応募も一定数ありました。昨年までは学内 5 人、学外 2 人の審査委員計 7 人で審査していましたが、今年は新たに大分大学 COC+推進機構（学内）と JR 九州リテール（学外）から各 1 人ずつ加わり、より幅広い観点からの審査を心掛けました。

最終審査に残った 10 作品は全て、問題意識が明確で「なるほど」と思わせるものでした。中でも、グランプリと特別賞の COC+賞を受賞した安東優有さん（大分商業 3 年）ら 4 人による「全国に発信“大分♥スイーツ 原尻の滝”」は、地元企業と協働で試作を重ねたゼリーで、福岡市内の百貨店で 400 個完売したことを示し、今後のさらなる展開が有望であることを非常に具体的かつ論理的に説明し、高く評価されました。

大分合同新聞社賞と特別賞の JR 九州リテールからの賞を受賞した板井瑠菜さん（同）の「安心保証つき母子健康手帳」は、災害時に困難な状況に遭うことが多い妊婦さんや子育て世帯に安心を提供でき、実現可能性が高い提案でした。県教委教育長賞を受賞した松本凜さん（鹿児島県市来農芸 1 年）ら 2 人による「臭いをとって商品開発」は、畜産業の課題解決と新商品開発を両立できる可能性を示し、既に具体的な行動に移していました。

最終審査での発表中「身近な場に何か課題がないかを思案し、いかに解決すればいいのかを考えることの面白さが分かった」と話してくれた高校生がいました。審査委員一同、大変うれしく思いました。今後も社会に優しいまなざしを向け続け、ちょっとした気づきを大切にしていきたいです。